

介護予防サービス・支援計画表（3）（記載例）

計画作成日

平成29年6月9日

NO.

伊勢 恵子

サービス名称は正確に記載。
予防給付 or 総合事業か確認。

「頻度」欄がない場合は、
「期間」欄に記載。

目 標	目標についての 支援ポイント	本人等 家族の支援、イン フォーマルサービス	サ イ ン テ ン ス 内 容	サ ー ビ ス 種 別	事 業 所	頻 度	期 間
1. 15分程度は続けて外を歩けるよう体力、筋力をつける。	1. 足腰の筋力向上のために専門家による評価と指導を行い、正しいトレーニング方法を理解し実行できるよう指導していく。 指導について、本人が理解できているか繰り返し確認していく。	1 (本人) デイサービスで学んだことを1日1回は行う。 体調の良い日は家族と一緒に家の周りを散歩する。 自信がいたら、家族とともに15分程度歩いてみる。 (長女) 運動を行っているか確認し、声かけし、励ましていく。 体調の良い日は一緒に散歩についていく。	1. 足腰の筋力向上のために運動機能訓練を行う。 自宅でする運動方法について指導する。	通所介護相当サービス (入浴あり)	リハビリデイサービス〇〇	週1回（火曜日）	H29. 6. 20 ~H29. 11. 30
2. 自宅で入浴できるよう適切な入浴方法を身につける。	2. 専門家による適切な入浴方法を指導していく。 回復の状態により、手すり、シャワーチェアなどの福祉用具の検討を行う。	2 (本人) デイサービスで適切な入浴の方法を学ぶ。 専門家と相談のうえ、家族の見守りのもと、自宅で入浴してみる。 (長女) 専門家と相談のうえ、自宅で入浴の見守りを行う。	2. 入浴時の見守り、出来ない部分の介助を行う。 自宅で入浴する際の適切な方法について指導する。 必要に応じて福祉用具の提案を行う。	通所介護相当サービス (入浴あり)	リハビリデイサービス〇〇	週1回（火曜日）	H29. 6. 20 ~H29. 11. 30
3. 災害時に近所の人と一緒に避難所まで行けるよう、情報収集、避難経路の確認など災害に備える意識を持つ。	3. 市内、町内の防災情報を提供し、防災に関する知識、啓発を行う。	3 (本人) 防災に関する情報を収集し、地域の避難訓練に参加する。 民生委員と相談し、必要に応じて災害時要援護者登録、救急医療情報キットの申請をする。 (キットは冷蔵庫に入れる) (長女) 避難について家族で話し合う。	3. 防災情報などを広報、回覧板で随時発信していく。 デイサービス利用時の災害発生について、個別の対応マニュアルを作成する。	広報、回覧板 通所介護相当サービス (入浴あり)	伊勢市、〇〇町会 リハビリデイサービス〇〇	随時 週1回（火曜日）	 H29. 6. 20 ~H30. 5. 31
4. 医師の指示に従い再発防止、薬の内服を行う。	4. 病気に対する正しい理解と、予防に対する知識を提供し、健康管理が維持できるよう支援する。 血圧の把握、食事内容の確認を行い、適切な指導を行う。	4 (本人) 定期受診と内服管理をする。 (長女) 定期的に受診に同席し、病状の把握を行う。 訪問の際に食事内容を確認し、不足している部分を補う。	4. 健康チェックを行い、異常の早期発見に努める。 病状の管理を行い、必要な医学的助言を行う。	通所介護相当サービス (入浴あり) 定期受診	リハビリデイサービス〇〇 〇〇医院	週1回（火曜日） 月2回	H29. 6. 20 ~H29. 11. 30

・期間の始めは、実際のサービス開始日を記載することが望ましい。
・各目標に合った期間の設定をすることが望ましい。